

あなたをやさしくエスコートする…



カワムラサイクルの電動車いす

KE007 (ロマンス)

取扱説明書



★運転に慣れるまでは、広く平坦な場所で十分な練習をしてください。
★安全を第一に考え、「あぶない!」と思われる場所はできるだけ避けて走るようにしましょう。

安全に関するご注意	1
1. 同梱部品の確認	6
2. ラベル	7
3. 各部名称と取扱方法	8
4. 組立方法	15
5. ブザー	18
6. 走行前に	20
7. 運転の方法	21
8. バッテリーの充電	25
9. お手入れと点検	29
10. 運搬	30
11. 故障かなと思ったら…	31
12. 仕様	33
13. 主な乗り方	35
14. 定期点検と記録	36
15. 車体番号	37
16. 保証とアフターサービス	39

はじめに

使い方

点検・保証

このたびはカワムラサイクルの電動車いすをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、商品を安全にご使用いただくために必要な注意事項や正しい使用方法が記載されています。

※ご使用になる前に必ずお読みください。また、お読みになった後は大切に保管してください。



株式会社 **カワムラサイクル**

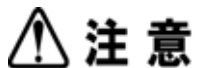
安全に関するご注意 ※ご使用になる前に必ずお読みください。

[表示マークの説明]



警告

この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示は「人が障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



禁止

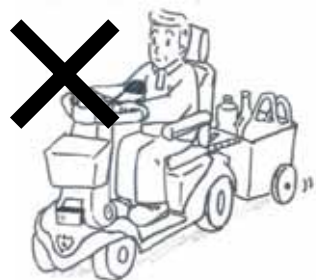
この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。

※ 以下の注意点以外であっても、無理な使用はおやめください。事故の原因になります。

禁止

- カワムラサイクルの電動カートは道路交通法の「身体障害者用車いす」に該当し、走行中は歩行者として取扱われます。従って「運転免許証」は必要なく、道路通行の際は、必ず右側通行してください。また、歩道を通行してください。また、大きく寸法の改造を行う場合には警察の確認が必要です。その際は販売店にご相談ください。

- この商品は電動カートです。電動カート以外の目的で使用しないでください。
(車や荷物をけん引することは禁止されています。)



- 酒気帯び運転は操作を誤る危険性がございますので、絶対にお止めください。また、気分が優れないときも運転しないでください。

- 勝手に改造・分解しないでください。強度や耐久性が劣化して危険です。また、事故になる恐れがありますので絶対に改造・分解しないでください。(保証対象外となります。)

警告

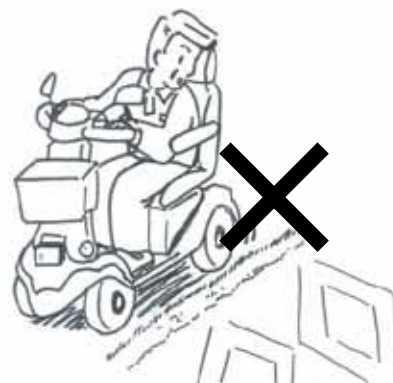
- 電動カートを火気に近づけないでください。
※ボディーが変形したり、熱くなった金属部分でやけどするなど、大変危険です。



- 携帯電話や PHS、トランシーバ等の通信機器から出る電磁波が、まれに周りの電気機器類に悪影響を及ぼす場合があることが知られています。万一電動カートがこの電磁波の影響を受けて停止したと思われる場合は、慌てずに一旦電源を切り、周りに携帯電話等を使用している人がいない(1.5m 以上離れている)ことを確認し、再度電源スイッチを入れ直し、3 秒数えてからゆっくりとアクセルバーを押して発進してください。また、高圧線やテレビ塔など強い電磁波が出ている場所での使用は避けてください。

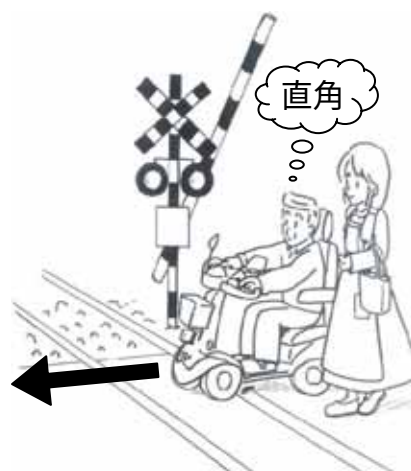
警告

- 踏み切り、川の端、手すりのない橋等は大変危険ですので、出来るだけ避けて運転してください。また、交通量の激しい道路や踏み切り等は介助者と一緒に走行されることをお勧め致します。



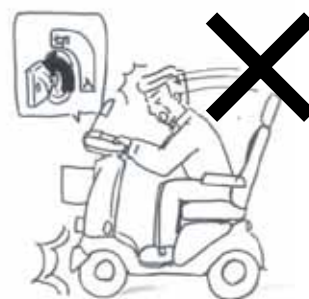
- 踏み切りや溝を横断する場合は、必ず一旦停止し、安全を確かめてから横断してください。また、進入するさいは、線路（溝）に車輪がはまらないよう線路（溝）に対して直角に横断してください。

- 万一、踏み切りや歩道内で立往生した場合は、左側後輪部付近のクラッチレバーを『手動』状態にし、手で押して脱出してください。



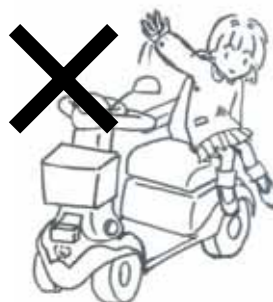
- 電車や自動車が近づくなど危険な場所は、身の安全を優先し、安全な場所へ直ちに避難してください。

- 走行中に電源のスイッチを切らないでください。急停止して危険です。



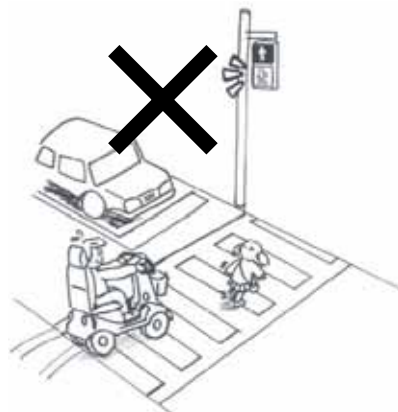
- 後進の時は、周囲の安全をよく確認してゆっくりと運転してください。

- シート部以外に腰掛けしないでください。



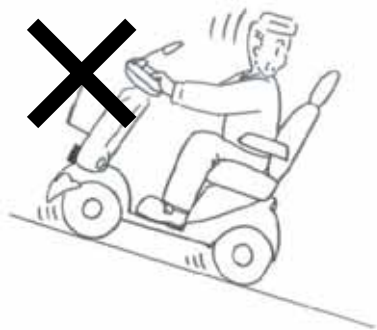
⚠ 警告

- 大きな交差点では信号を一回待って横断してください。
途中で信号が変わるおそれがあり危険です。



- 雨の日の運転は避けてください。雨水が操作パネル内に入ると操縦不能になる事があり、危険です。
また、水洗いしないでください。

- 夜間での走行は避けてください。
危険ですので、単独走行は絶対にしないでください。
やむを得ず夜間に使用する場合は、介助者に同行していただき、ヘッドライトを点灯したうえ安全を確保してください。



- 坂道での後進は転倒する恐れがありますので、絶対にしないでください。
(下り坂は必ず前進で、速度調節ダイヤルを『低速』に合わせ、慎重に走行してください。)

- 大きな段差・溝の乗越えは避けて走行してください。
乗越えできる最大段差は 6 cm までです。
段差に対して直角方向に乗越え、上り坂は特に避けてください。



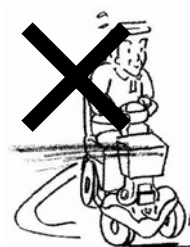
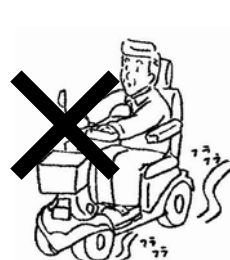
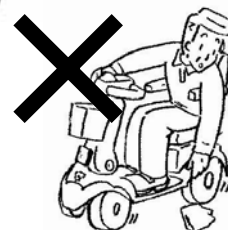
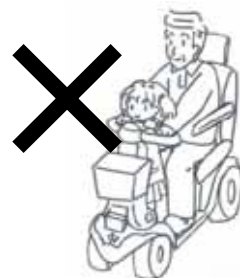
- 乗越えできる溝の最大幅は 10 cm までです。
溝に対して直角方向に乗越え、上り坂は特に避けてください。



- 階段やエスカレーターでの使用はしないでください。

⚠ 注意

- 下記のようなところに電動車いすを放置しないでください。
 - ・車道に近いところ ・人通りのあるところ ・路面に段差や凸凹のあるところ
 - ・湿気の多いところ ・雨風の当たるところ ・火気のあるところ
 - ・傾斜地
- アクセルレバーは出来るだけゆっくり操作してください。急な操作を行なうと、急発進・急停止になり大変危険です。また急発進を繰り返し行なうと、モーターに過負担がかかり故障の原因につながります。
- 深い砂・砂利道・ぬかるみは避けてください。車輪がめり込んで動けなくなる事があり、故障の原因になります。
- この電動カートは1人乗りです。危険ですので二人乗りはしないでください。また、走行中に身を乗り出したり、足を出したりすると危険ですのでお止めください。
- 使用されない時、またはカートから離れる時は、いたずら防止のためキーを抜いておくことをお勧め致します。
- 長い坂道などを走行すると、メインコントロール基板が高温になる場合があります。この場合、操作パネルの「高温」ランプが点滅し、そのまま走行すると安全装置が働いて停止します。ランプが点滅したら直ちに安全な場所へ移動し、5分以上車体を休ませてください。
- 長い下り坂を連続して下るとき、モーターの発電からメインコントローラーを保護するための機能が働いて停止する場合があります。もし停止したときは、電源を入れ直しスピードを落して坂を下ってください。
- 急坂の上りや段差を無理に上がろうとすると保護機能が働き、モーター出力を低下させます。その時は、電源を入れ直し進路を変えてください。
- バッテリーが満充電の状態では坂を下ると、停止する場合があります。
- 蛇行運転、急旋回、急発進、急制動はさけてください。



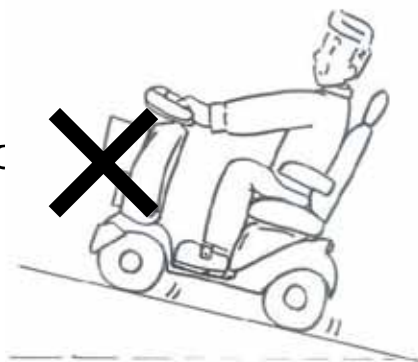
⚠ 注意

- 雪道は道路が滑りやすく大変危険ですので、運転をお止め下さい。

- 急な坂道を上り下りする事は避けて下さい。

- 急な坂道の走行は、転倒の恐れがありますので避けてください。

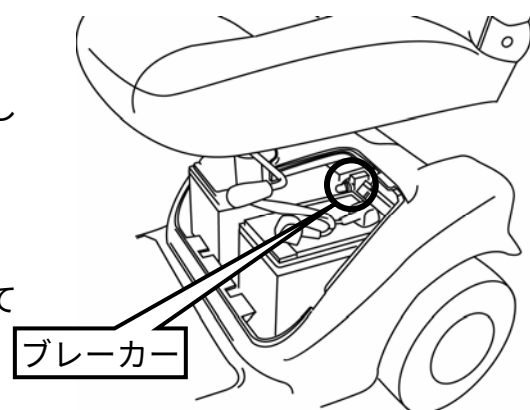
- 坂道は斜め走行や横切る事をせず、まっすぐ前進で上り下りしてください。



- 急な坂道を連続して走行すると、急にブレーキが効いて動かなくなる時がありますが、これは回路ブレーカーが働いた為ですので、ブレーカーを押し込むと、再度運転することが出来ます。

（ブレーカーが働く時は、能力を超えたことになりますので、進路を変えてください。

ブレーカーはバッテリー交換用足元カバーを開けてバッテリーの間にあります。）



- 突起物、障害物は避けて走行してください。また、突起物、障害物を左右の車輪の間にくぐらせるような走行は避けて下さい。バッテリーやモーターを破損する恐れがあります。

- ギア・モーター部より異常な音が出た場合はご使用を避け、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 回転している車輪に指を差し込まないように注意してください。また、衣服等が車輪にからまないようご注意ください。

- 安全のため、明るい時間でもヘッドライトを点灯しましょう。

- 前カゴには2 kg 以上の荷物は入れないでください。

- 使用者の最大体重は100kg(積載物を含む)です。重量をオーバーしないように使用してください。

なお、この取扱説明書は、仕様変更などによりイラストや内容が一部実車と異なる場合があります。

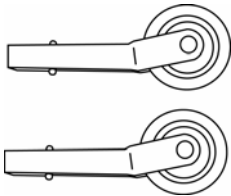
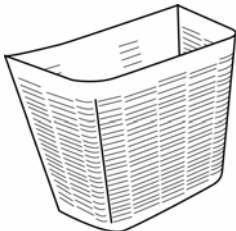
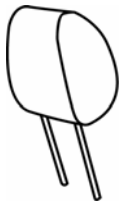


《 型 式 認 定 》 国家公安委員会から型式認定をうけております。

「TSマーク」は、道路交通法令などに定められている基準を満たし、国家公安委員会の型式認定を受けた場合に貼ることができる標章です。

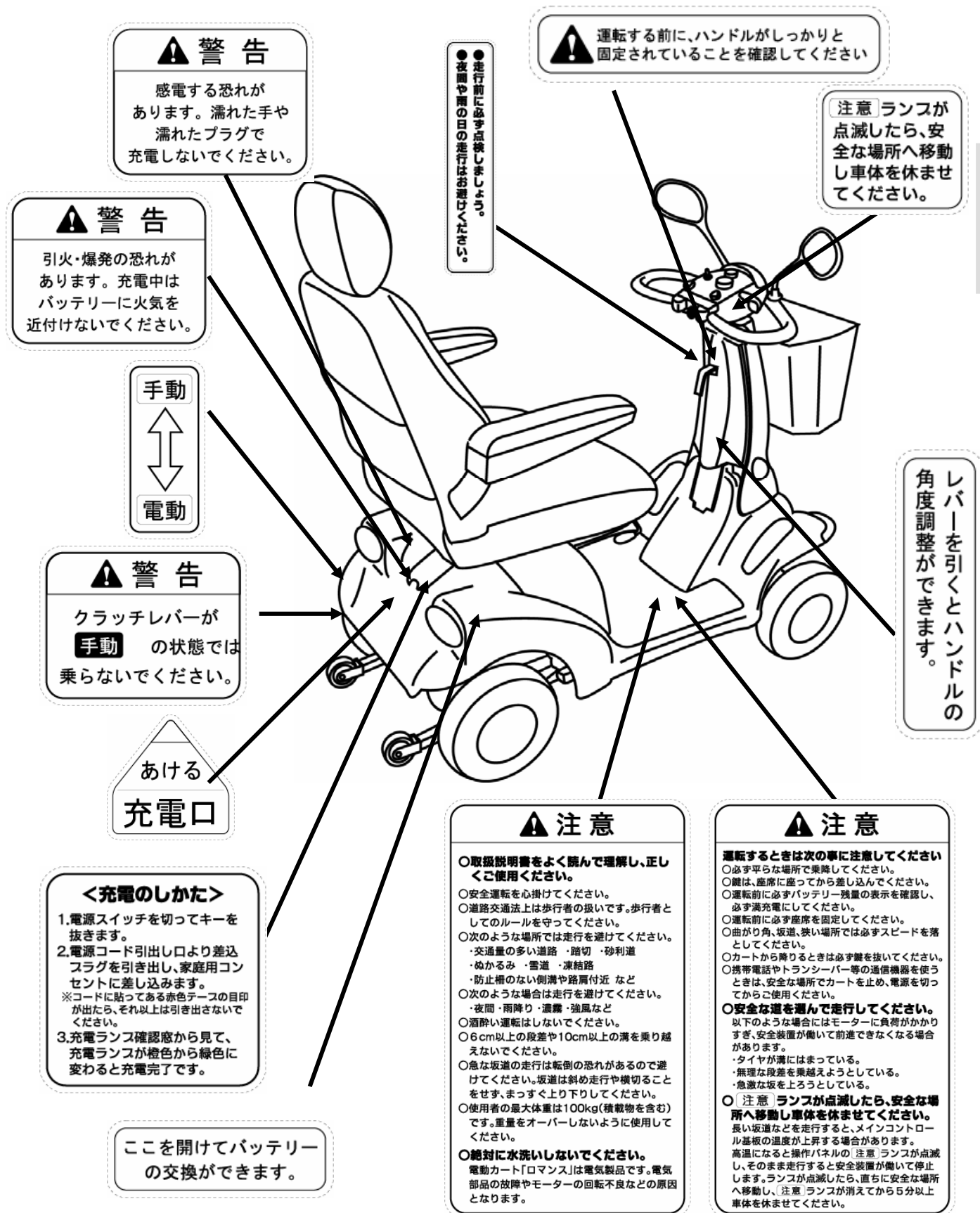
1.同梱部品の確認

本製品には、以下の部品が同梱されていますので確認してください。

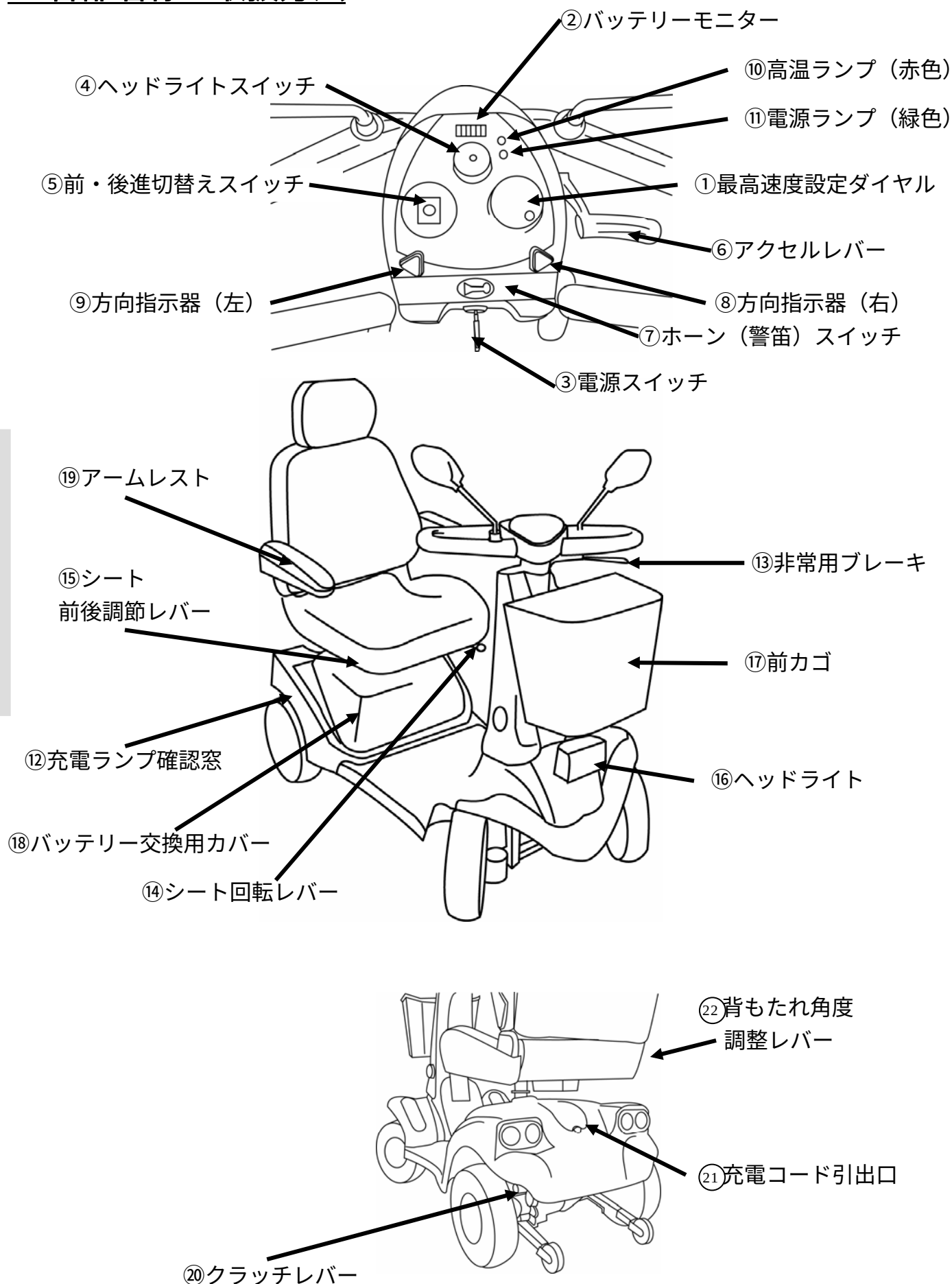
・キー	2 個	
・転倒防止車輪	1 ペア	
・前カゴ	1 個	
・枕（ヘッドレスト）	1 個	
・工具、説明書（保証書はがき付）	各 1 個	 

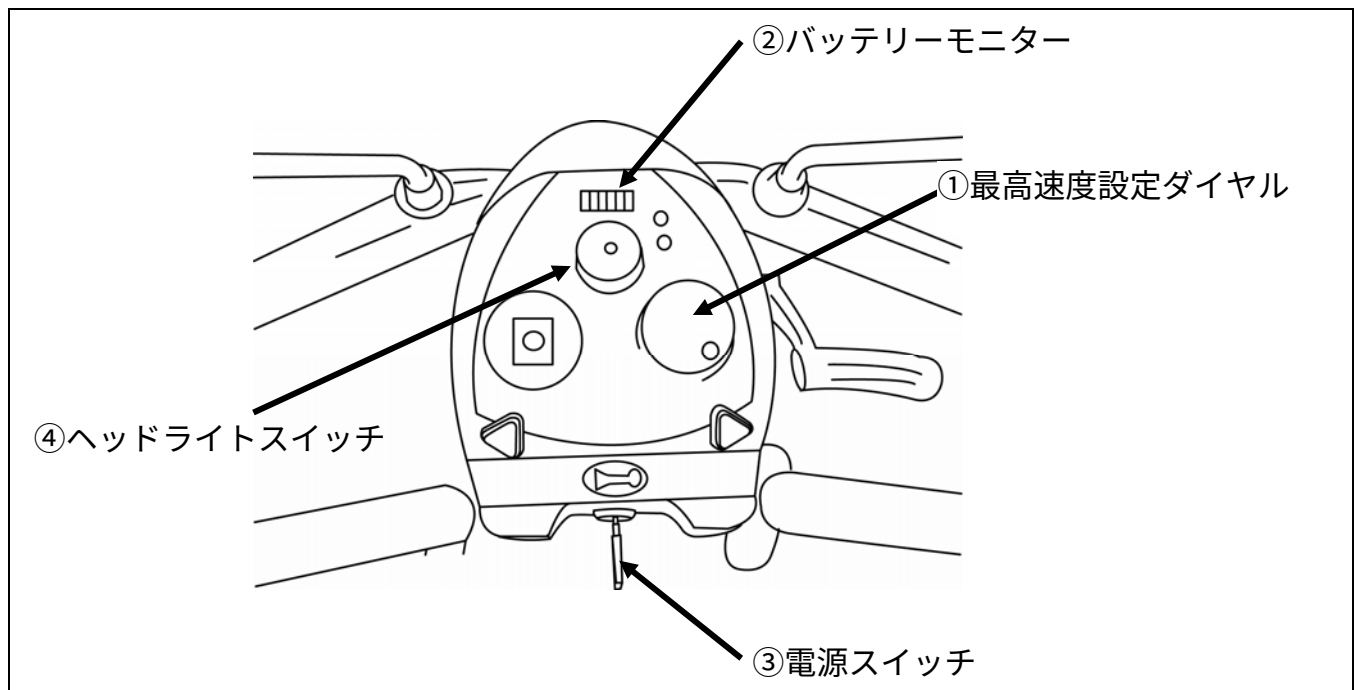
2.安全ラベル

- ・取扱上の重要な事項を記載した安全ラベルが貼ってあります。安全ラベルをすべて読んでからご使用ください。
- ・ラベルを汚したり、はがしたりしないでください。

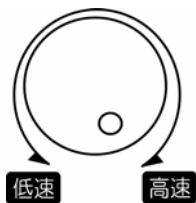


3.各部名称と取扱方法





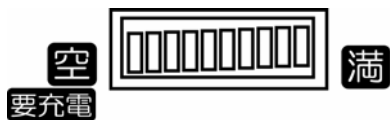
①最高速度設定ダイヤル



アクセルレバーをいっぱいまで押さえた時の最高速度を設定できます。

- ・ダイヤルを時計回りにまわして『低速』から『高速』へ速度を無段階(1～6km/h)に調整することができます。

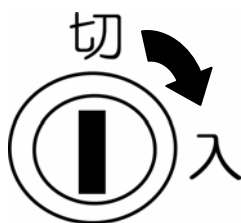
②バッテリーモニター



バッテリーの残量を示します。(10段階)

- ・残量の確認は平坦路を数分走行してから行います。(発進時や登坂・段差では一時的にランプの残量が減ることがあります。)
- ・冬期はバッテリーの性能が低下するため、モニターのランプが早く消えることがあります。

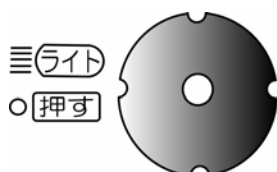
③電源スイッチ



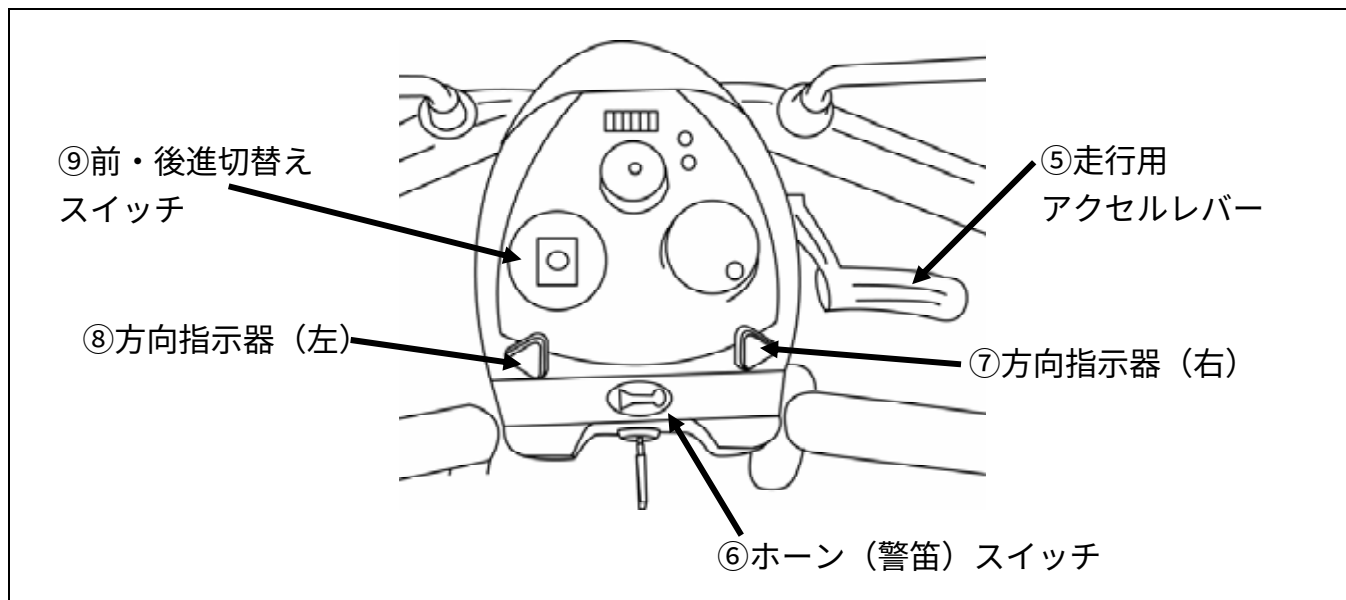
キーを差し込んで時計回りに 90 度まわすと電源が入ります。

- ・バッテリーモニターの点灯を確認してください。
- ・電源を切るときは反時計回りにキーをまわし、元の位置でキーを抜きます。
- ・操作をしない状態が 10 分続くと操作無効になり、電源ランプが点滅します。もう一度、電源を入れ直してください。

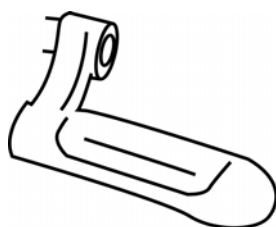
④ヘッドライトスイッチ



黒い丸ボタンを押すとヘッドライト (前照灯) が点灯します。もう一度押すと消灯します。



⑤ 走行用アクセルレバー



運転方法は、P.21 を
ご覧ください。

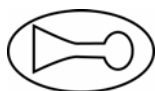
下へ押さえると進みます。

- ・レバーから手を放すと自動的にブレーキがかかります。
- ・レバーの押さえ加減で、0km/h から設定最高速度の間で走行速度を調節できます。
- ・使用者に合わせてレバーは左右どちらでも付け替えることができます。(販売店にご相談ください。)

※この電動車いすにはコーナー減速装置がついています。走行時ハンドルを左右共に約 12 度以上切ると、直進時の 25% 減速します。ハンドルを 12 度未満にもどすと元のスピードに戻ります。

(例：6 km/h で走行中は 4.5 km/h まで減速します) 後進時も同様です。

⑥ ホーン(警笛)スイッチ



スイッチを押すとホーン(警笛)が鳴ります。

⑦ 方向指示器 (右)



右に曲がるときにボタンを押すと方向指示灯が点滅します。解除する際には、もう一度ボタンを押すと消えます。

⑧ 方向指示器 (左)

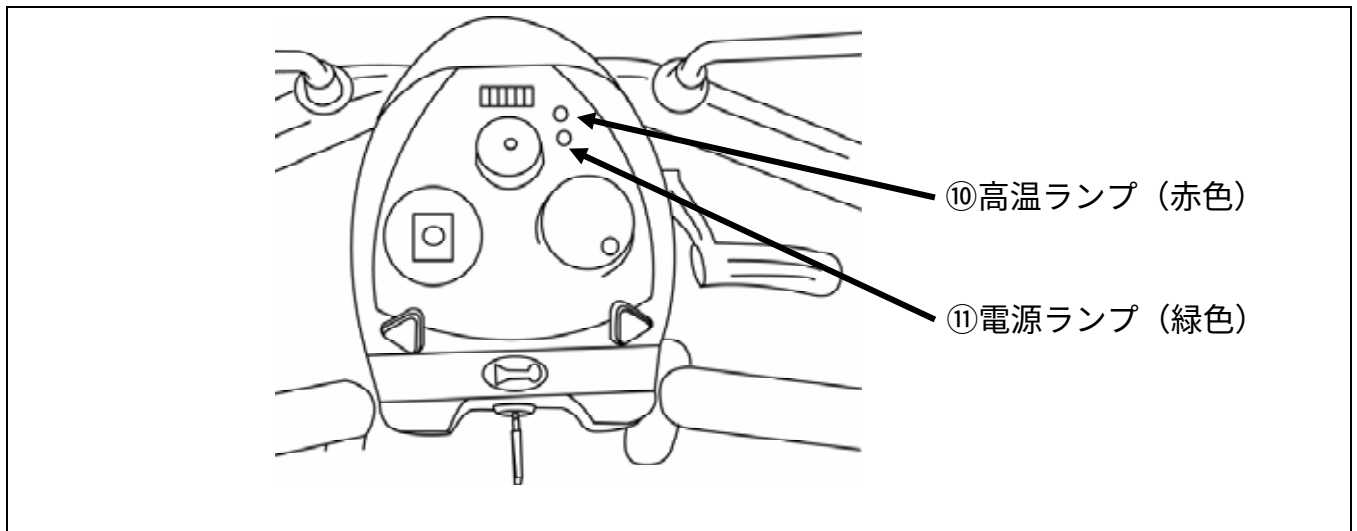


左に曲がるときにボタンを押すと方向指示灯が点滅します。解除する際には、もう一度ボタンを押すと消えます。

⑨ 前・後進切替えスイッチ



進みたい方向にスイッチを切替えてください。



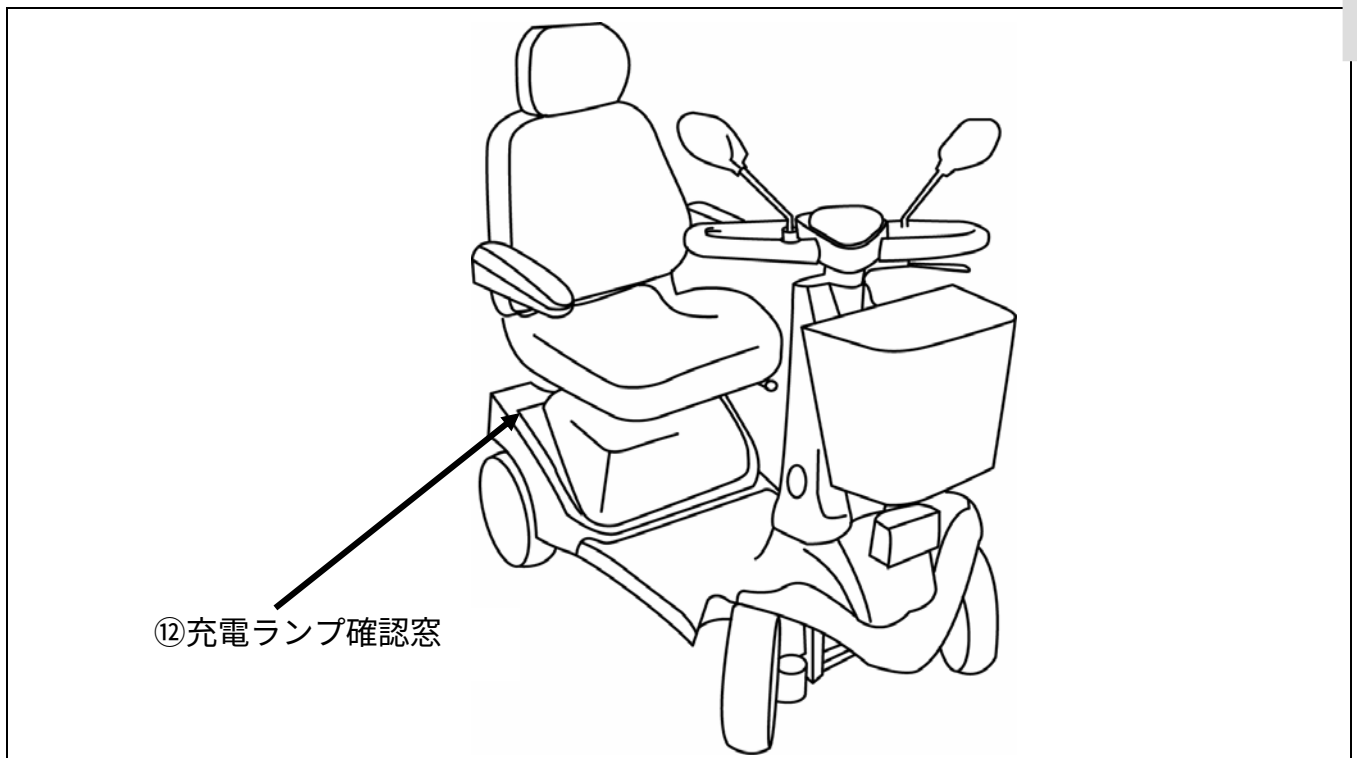
⑩高温ランプ（赤色）

駆動部分が高温になった場合に赤色ランプが点灯します。

※坂道などを走行すると点滅する場合があります。点灯した場合は安全な場所へ移動し、車体を休ませるか、平坦路へ戻ってください。そのまま走行すると停止する可能性があります。一定の温度まで下がると消灯します。

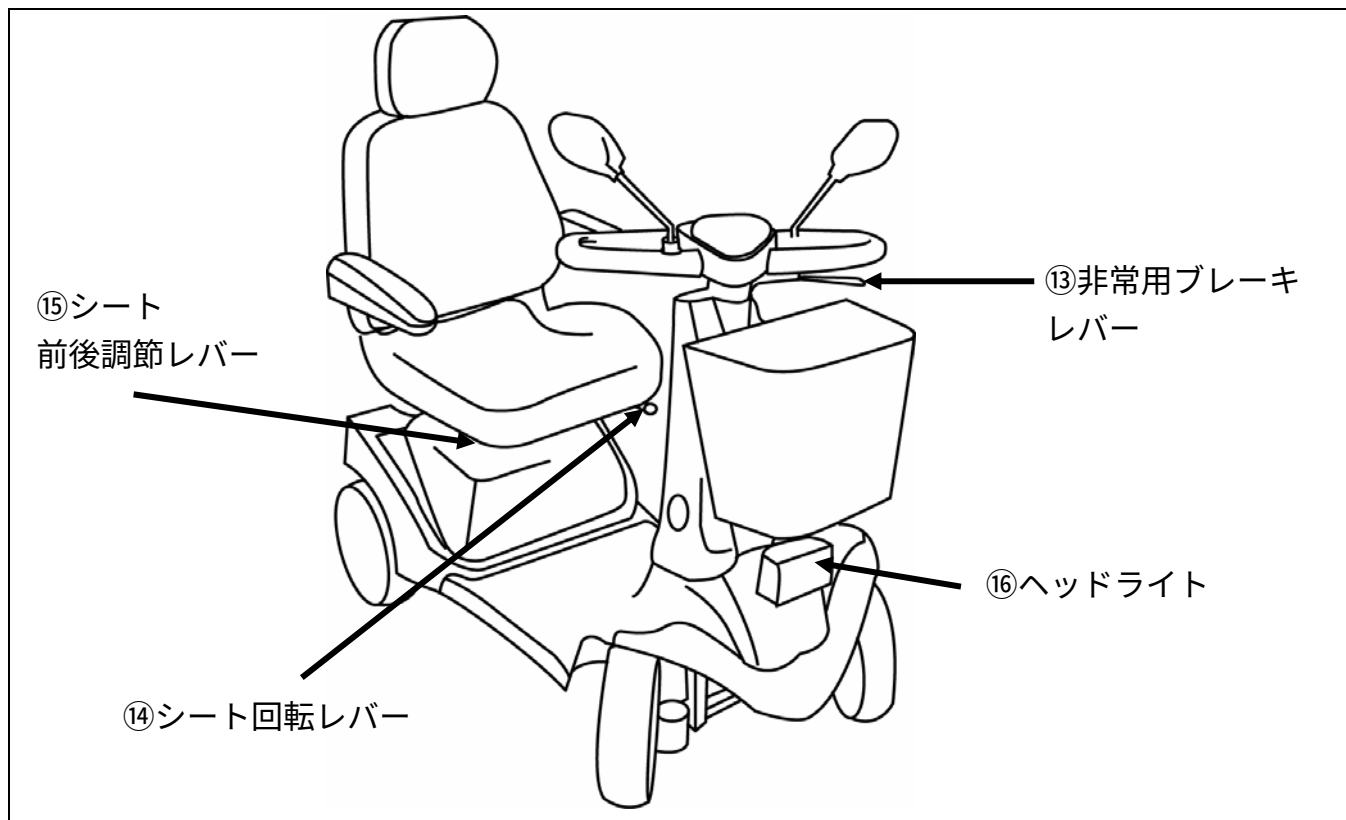
⑪電源ランプ（緑色）

電源スイッチを入れると緑色ランプが点灯します。異常があった時は点滅します。

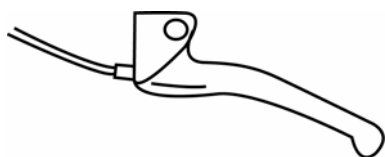


⑫充電ランプ確認窓

充電中に充電器のランプを確認できます。



⑬非常用ブレーキレバー



手押し時、緊急時にレバーを握ってブレーキをかけてください。

⑭シート回転レバー



シートは左前の黒いレバーを上げながら、左右それぞれ45度ずつ回転できます。



警告

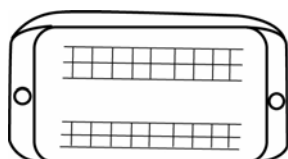
運転するときは座席シートを元の位置に戻し、位置が固定されていることを確認してください。

⑮シート前後調節レバー

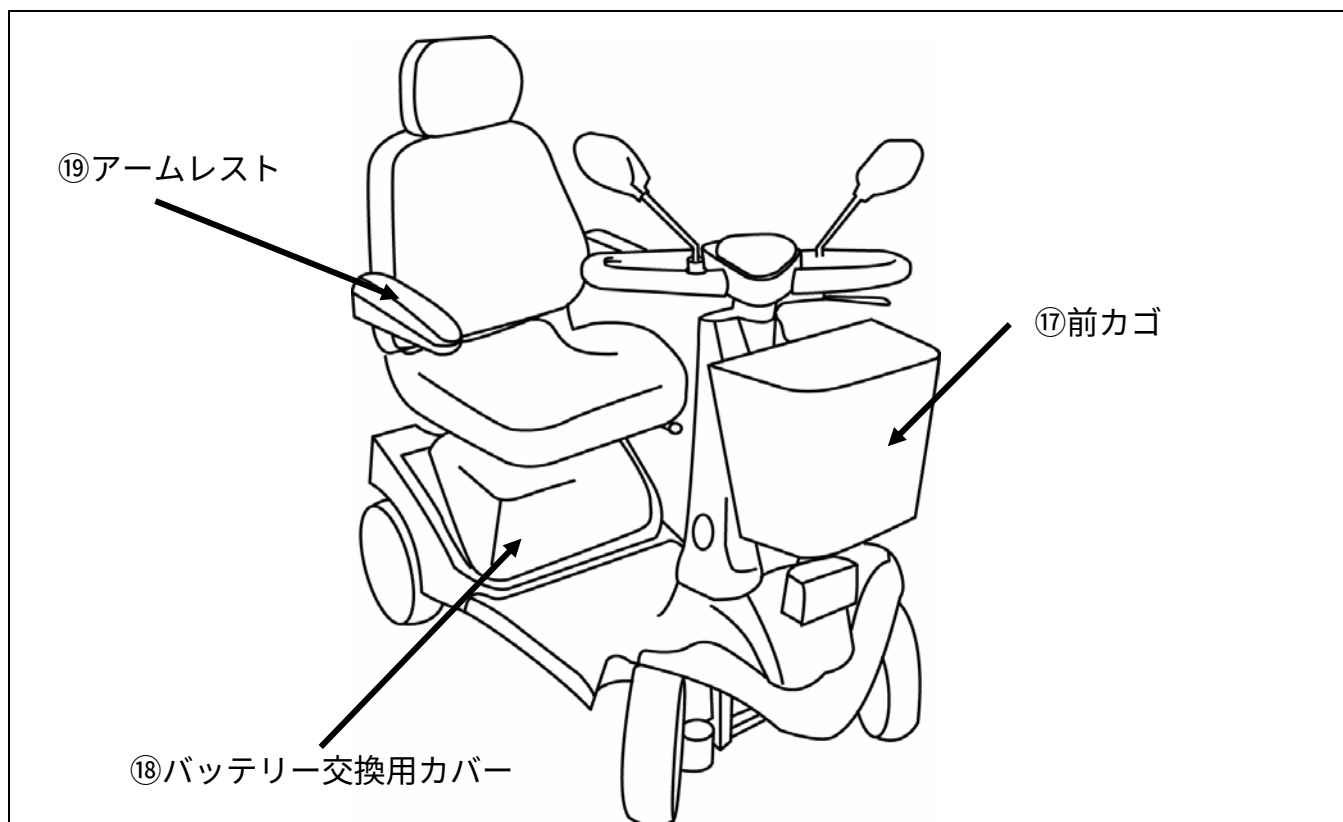


・シート右前のレバーを上げながらシートの前後位置を調節します。レバーを放すと、その位置で固定できます。

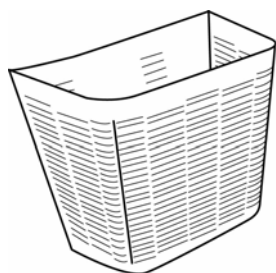
⑯ヘッドライト



④のヘッドライトスイッチを押すと点灯します。ライトを動かすと角度を変えることができます。



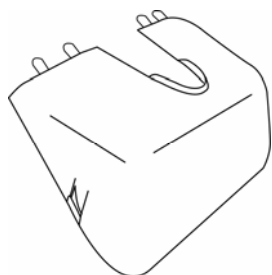
⑰前カゴ



カゴをハンドルの支柱前部のフックに引っ掛けて下へ下げると固定できます。荷物を入れすぎるとハンドルが重くなります。

※前カゴには 2kg 以上の荷物はいれないでください。
※ご使用者の最大体重は 100kg（積載物を含む）です。
重量をオーバーしないように使用してください。

⑱バッテリー交換用カバー

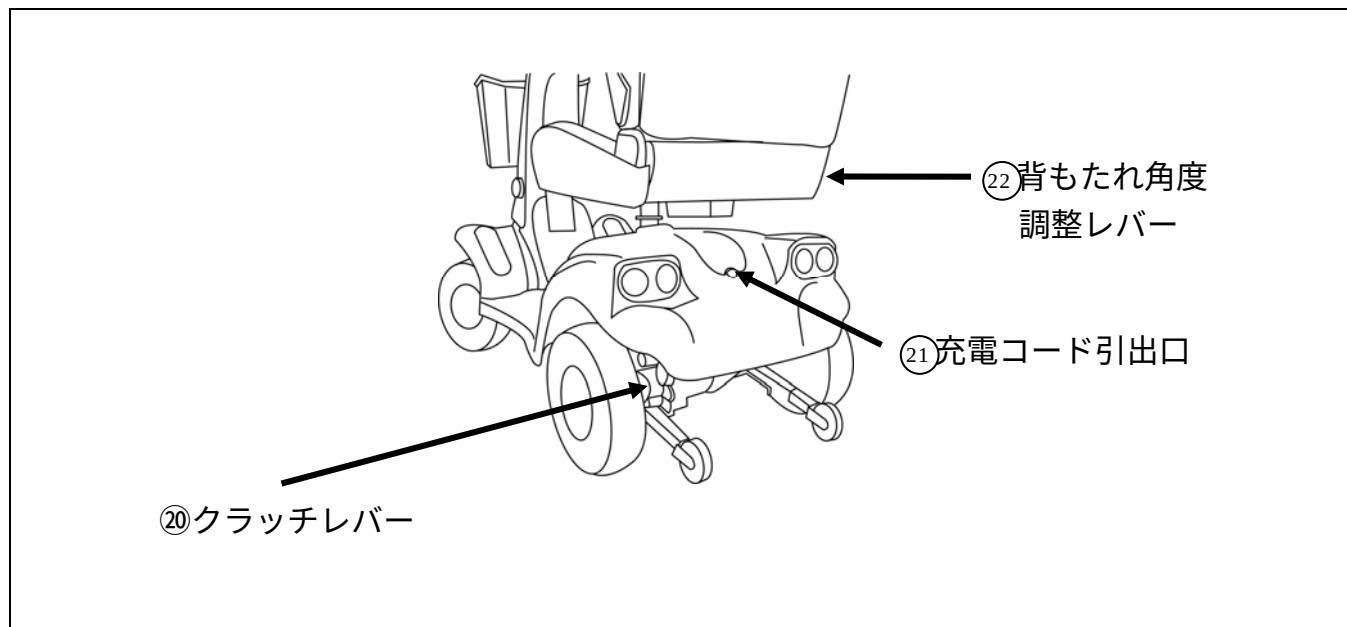


このカバーを取り外すと、シートを外さずにバッテリー交換ができます。

⑲アームレスト



乗降車時、上へ跳ね上げることができます。また、肘掛け裏にあるローラーを廻すと角度を変えることができます。



②① クラッチレバー



走行、手押しの切り換えができます。

- ・走行するときはクラッチレバーを電動側にし、手押しするにはクラッチレバーを引き上げ手動側にします。



警告

- 転倒・衝突の恐れがあります。危険ですのでクラッチレバーを上げた状態（手動の状態）では乗車しないでください。
- 坂道等ではブレーキが効かず事故につながる可能性があります。クラッチレバーを上げた状態（手動の状態）で放置することは止めてください。

②① 充電コード引出口



充電する際に、ふたを開けて充電コードを引き出してください。もう一度、軽く引くとコードが巻き取られます。
※充電コードに貼ってある黄色のテープの目印がコードリールから出たら、それ以上はコードを引き出さないでください。断線する恐れがあります。

②② 背もたれ角度調整レバー

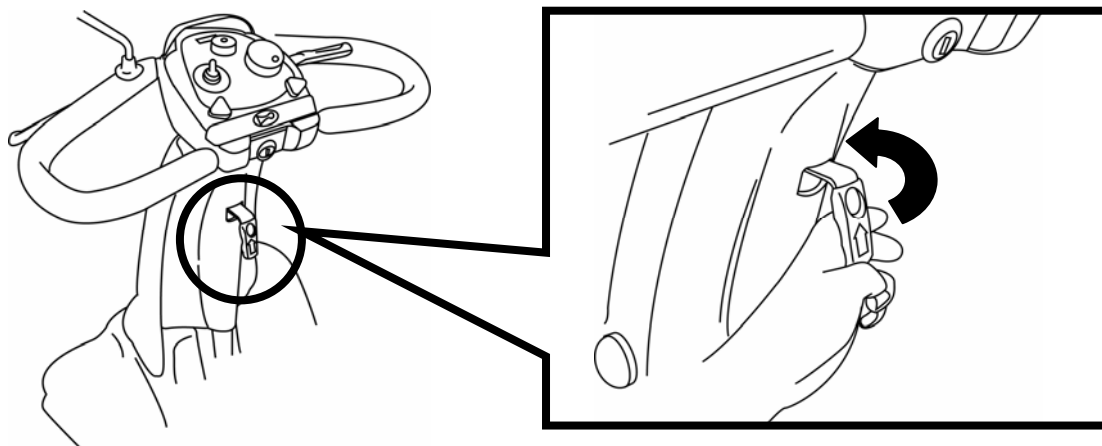


レバーを上へ引き上げると、背もたれの角度が調整できます。反対側にあるネジの位置を変えると背もたれ角度調整範囲を変えることができます。

4.組立方法

①ハンドルを立てて固定します。

- ・ハンドルの角度を無段階で調整できます。
- ・ハンドルの支柱内側の角度調整レバーを手前に引きながらハンドルの角度を調整します。
- ・角度が決まったら、レバーを放して固定します。



・アクセルレバー付け換え方法

アクセルレバーは左右どちらにも取り付けることができます。アクセルレバーを取り付けているボルトを六角レンチ（4 mm）で外し、引き抜いてください。反対側に付いているキャップを外し、操作しやすい角度にレバーを差し込んでボルトで固定してください。

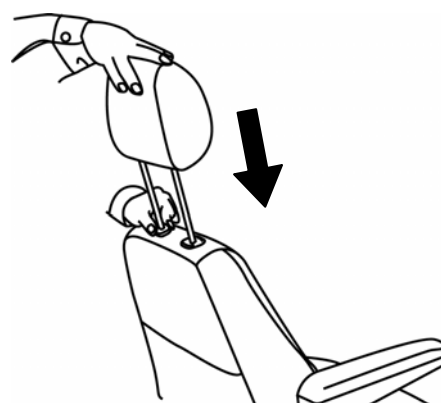


警告 ハンドルがしっかり固定されていることを確認してください。

②シートを起こし、枕を取り付けます。



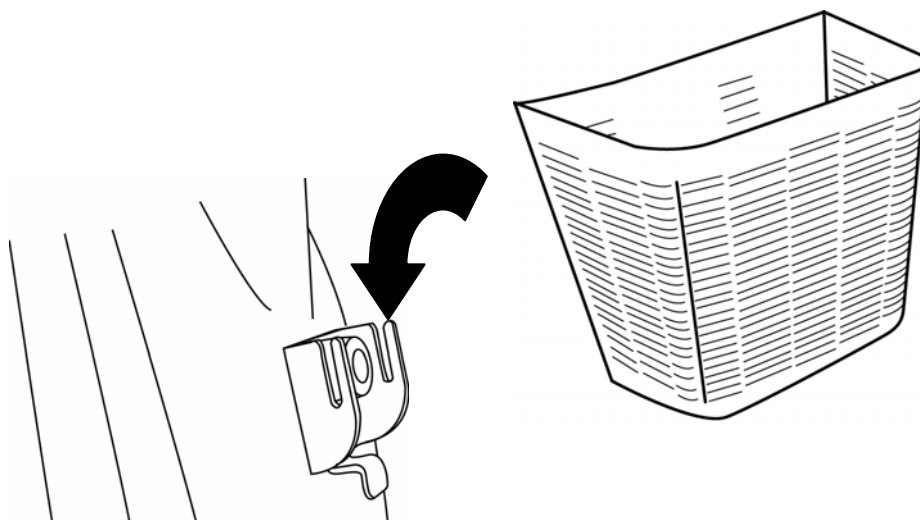
背もたれ角度調整レバーを引きながら、シートを起こします。



枕差込部のボタンを押しながら、枕を差し込みます。

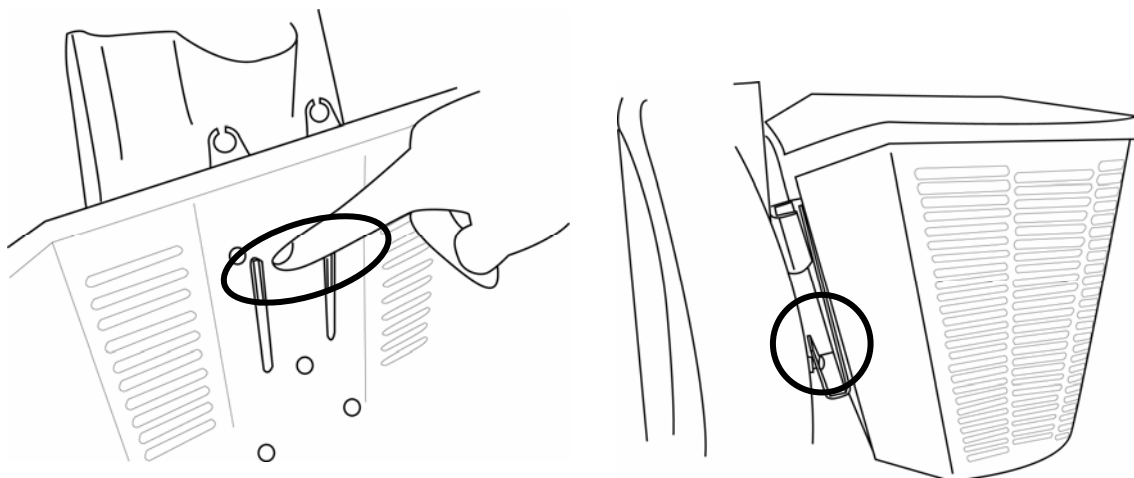
③カゴを取り付けます。

- ・カゴをハンドル支柱前部の金具に引っ掛けるようにして取り付けてください。



⚠ 注意

- カゴがしっかりと固定されていることを確認してください。固定されていないと、不意にカゴが外れ、カゴや中の物が破損する恐れがあります。



上図の○印 2箇所がきっちりと固定されていることを確認してください。

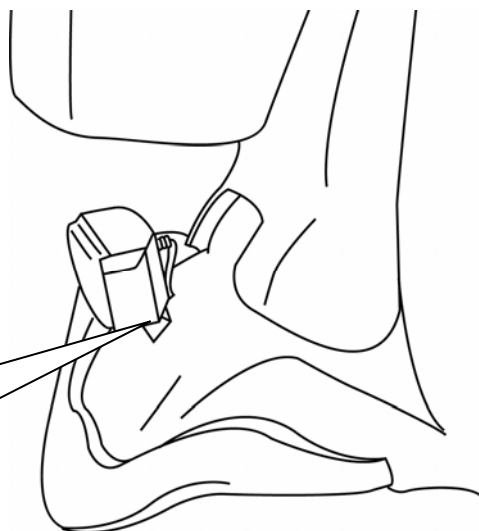
③バックミラーを固定します。

- ・バックミラー取付部のカバーを上を持ち上げ、バックミラーの取付部のナットを緩め、バックミラーを見やすい位置に調整し、ナットをしっかりと締めてください。



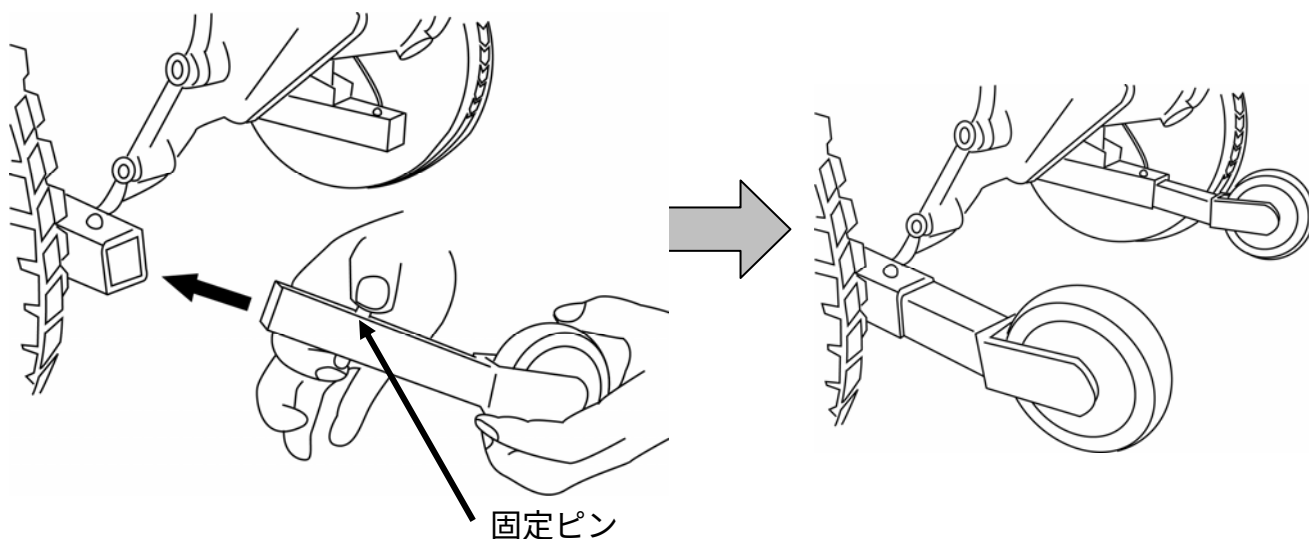
④ヘッドライトの向きを調整します。

ヘッドライト下のナットを緩め、ヘッドライトの向きを調整し、ヘッドライト下のナットをしっかりと締めてください。



⑤後部転倒防止補助車輪を取り付けてください。

- ・後車輪内側にある角パイプに補助車輪が上向きになるように固定ピンを押さえながら“カチッ”と音がするまで差し込んでください。

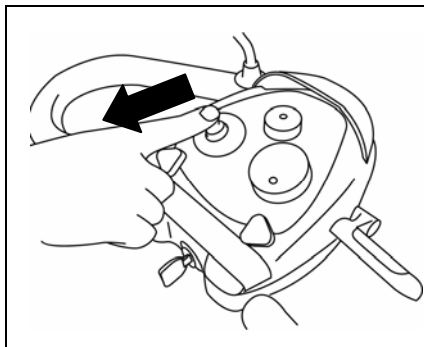


5.ブザー

電動カートには、お知らせブザーと警告ブザー機能があります。

<お知らせブザー>

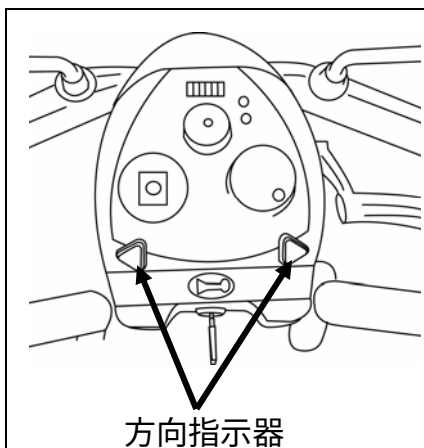
●後進時



前・後進切替レバーを後進に切替え、アクセルレバーを押さえると、ブザーが鳴ります。

- 後方の安全を確認しながら後進してください。
- アクセルレバーはゆっくり押さえてください。強く抑えると、急発進し危険です。

●方向指示器を押した時

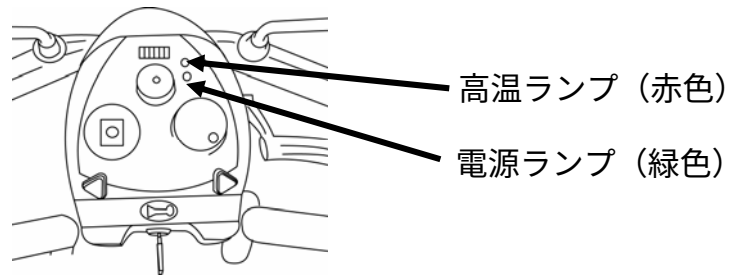


方向指示器の右または左を押すと、ブザーが鳴り方向指示灯が点灯します。右左折が終了したら、もう一度スイッチを押して作動を止めてください。

- 方向指示器は、周りの人へ知らせるものです。事故予防のためにも、右左折する際には必ず方向指示器をご利用ください。

<警告ブザー>

- ・異常がある場合に、ブザーやランプでお知らせします。
「ピピピッ」という連続音の後に「ピーッ、ピーッ」とブザーが鳴り始め、同時に電源ランプ（緑色）が点滅します。



<ランプ点滅パターン>

1 回点滅	バッテリー電圧が低下しています。故障ではありません。 ⇒充電してください。 充電コードプラグがささっています。故障ではありません。 ⇒コンセントを抜いてください。 操作無効になっています。故障ではありません。 ⇒電源を入れ直してください。
2 回点滅	モーターと制御ボックス間の接続不良です。 ⇒モーターと制御ボックス間のすべてのコネクタが正しく接続されているか確認してください。
3 回点滅	モーターとバッテリー間の配線不良です。 ⇒販売店に相談し、点検を受けてください。
6 回点滅	外部から何らかの影響を受けた可能性があります。 ⇒販売店に相談し、点検を受けてください。
7 回点滅	アクセルの異常です。 ⇒アクセルレバーを押さえたまま電源をいれていませんか？
8 回点滅	メインコントロール基板の故障です。 ⇒販売店に相談し、点検を受けてください。
9 回点滅	電磁ブレーキの接続不良です。 ⇒モーターと制御ボックス間のすべてのコネクタが正しく接続されているか確認してください。
10 回点滅	バッテリーの電圧が高くなっています。故障ではありません。 下り坂を連続走行した時に起こる場合があります。 ⇒電源を入れ直して発進してください。
注意ランプ	長い坂道などを走行すると、メインコントロール基板が高温になる場合があります。この場合、操作パネルの「高温」ランプが点滅し、そのまま走行すると安全装置が働いて停止します。故障ではありません。 ⇒ランプが点滅したら、<u>直ちに安全な場所へ移動し、5 分以上車体を休ませてください。</u>

- ※ 長い下り坂を連続して下るとき、モーターの発電からメインコントローラーを保護するための機能が働いて停止する場合があります。もし停止したときは、電源を入れ直しスピードを落して坂を下ってください。
- ※ 急坂の上りや段差を無理に上がろうとすると保護機能が働き、モーター出力を低下させます。その時は、電源を入れ直し進路を変えてください。

6.走行前に点検してください。

走行する前には必ず次の各部を点検し、異常がないことを確認してください。異常があった場合にはご使用をお止めいただき、お買い上げの販売店にご相談ください。

<車体まわり>

バックミラー	汚れや損傷はありませんか？
反射板（リフレクター）	ゆるみ、ガタはありませんか？
タイヤ	亀裂や損傷はありませんか？ タイヤはすり減っていませんか？ 釘、石、その他の異物が刺さったり、噛みこんだりしていませんか？ 空気は入っていますか？（エアータイヤのみ）
クラッチレバー	クラッチレバーは正常に作動しますか？
シートレバー	確実に固定されていますか？
ねじ、ノブ類	ねじ、ノブ類の緩みはありませんか？
非常用ブレーキ	正常に作動しますか？

<座席に座って>

ハンドル	左右スムーズに動きますか？ 大きなガタつきはないですか？
バックミラー	見やすいように位置の調整はしましたか？
バッテリーモニター	残量表示の目盛が全て点灯していますか？
ホーン(警笛)	ホーンは鳴りますか？
方向指示器	右、左、それぞれ点滅しますか？
ヘッドライトスイッチ	ライトは点灯しますか？

<走行して>

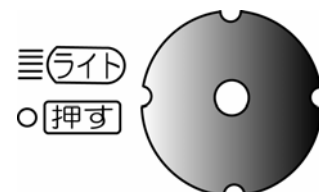
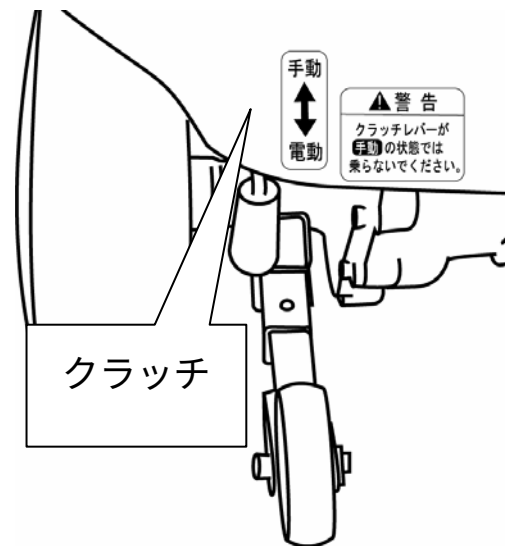
アクセルレバー	押さえる、離すの操作で走行、停止しますか？
前・後切替スイッチ	正常に作動しますか？
最高速度設定ダイヤル	正常に作動しますか？
モーター	モーターに異常音はないですか？ 電磁ブレーキは正常に作動しますか？

※必ず最高速度設定ダイヤルを最低速に合わせて点検を開始してください。

7. 運転の方法

＜お出かけの前に＞

- ①クラッチレバーが下がっている状態(電動の状態)にあり、車輪が動かない事を確認してください。クラッチレバーを上げた状態(手動の状態)では、アクセルレバーを押さえても本機は動きません。
- ②必ず、平らな場所で乗降してください。
- ③シート、ハンドルがしっかりと固定されている事を確認してください。
- ④バックミラーの角度を後方の状況が見えるように調節してください。
- ⑤バッテリーが十分に充電されている事を確認してください。不足している場合は充電してください。
- ⑥ヘッドライトスイッチを押し、ヘッドライトの点灯・消灯を点検してください。

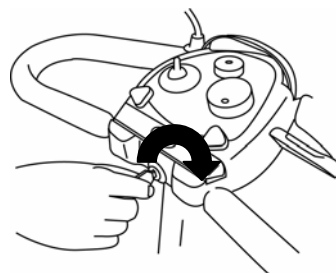


警告

- 坂道や斜面ではクラッチ操作は避けてください。平坦な場所で行ってください。
- 転倒・衝突・暴走の恐れがありますので、クラッチレバーを上げた状態(手動の状態)特に坂道や斜面等では乗車・走行しないでください。
- 坂道等ではブレーキが効かず事故につながることがあります。クラッチレバーを上げた状態(手動の状態)で放置することは止めてください。

<走行について>

- ①電源スイッチのキーを右に廻して電源を入れます。

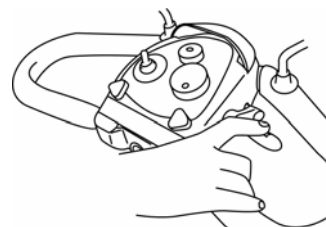


- ②（前進する場合）前・後進切替スイッチが前進になっていることを確認します。



（後進する場合）前・後進切替スイッチが後進になっていることを確認します。

- ③最高速度設定ダイヤルを『低速』位置にしてください。
運転になれるまで及び屋内や狭い場所、曲がり角での走行は、速度を落して運転することをおすすめします。



- ④アクセルレバーをゆっくりと下に押さえます。

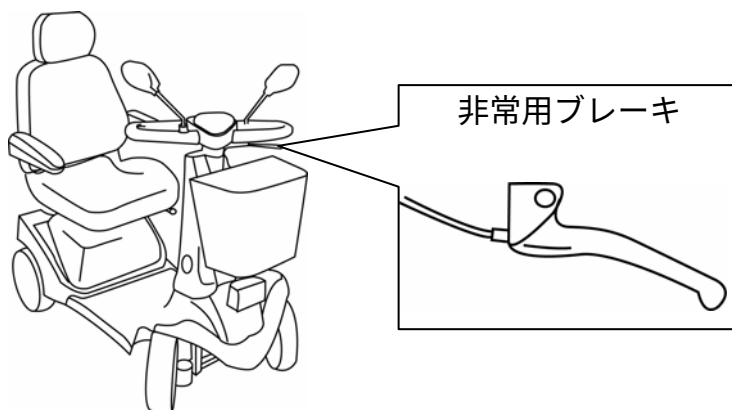
アクセルレバーを離すと自動的に電磁ブレーキがかかり停止します。

アクセルレバーの押さえ加減で加速・減速ができます。最高速度は、最高速度設定ダイヤルにて無段階調整（1～6 km）ができます。（後進時の最高速度は、前進時の 70% となります。）

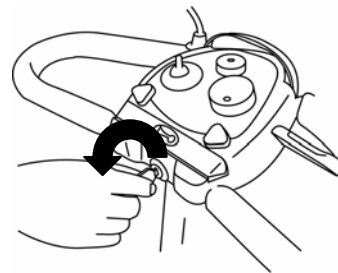
⚠ 注意

- 坂道では速度を落して前進走行で上り下りしてください。
- 走行中は最高速度設定ダイヤルを操作しないでください。

- ④緊急停止をするときはアクセルレバーから手を離し、非常用ブレーキを握ってブレーキをかけてください。



- ⑤降車するときは本機が完全に停止したのを確認してから電源スイッチを「切」にしてキーを抜いてから降車してください。

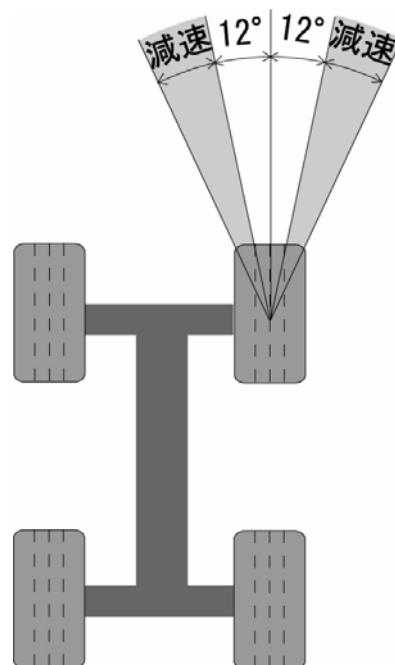


※この電動車いすには、コーナー減速機能がついています。走行時ハンドルを左右共に 12 度以上切ると、直進時の 25%減速します。

ハンドルを 12 度未満に戻すと元のスピードに戻ります。

(例：6km/h で走行中は 4.5km/h まで減速します。) 後進時も同様です。

※走行性能限界は段差乗越え高さ 8 cm以下です。最大溝幅は 10 cmです。最大登坂角度は 10 度です。



警告

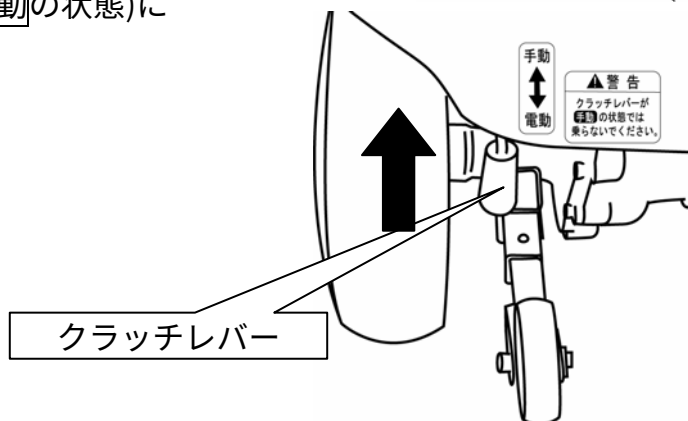
- 走行中に身を乗り出したり、足を出したりすると転倒や足をはさむ恐れがあります。
- 走行中に電源を切らないでください。急停止し転倒する恐れがあります。

＜手で押して移動するとき＞

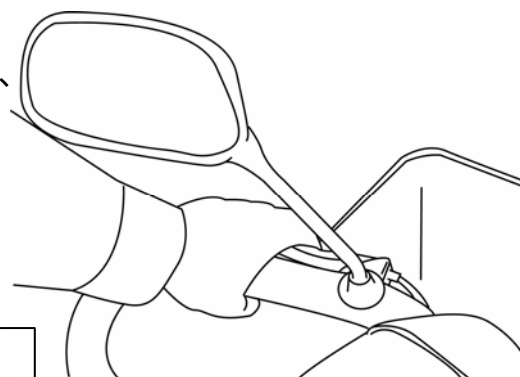
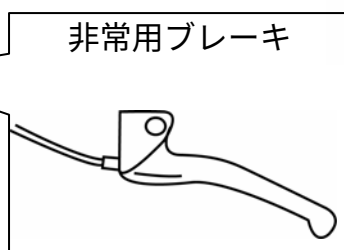
①平坦な場所で、電源スイッチを切ってから操作してください。



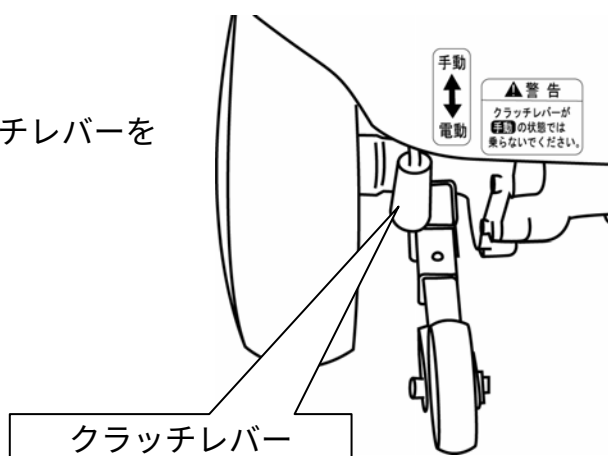
②クラッチレバーを上げた状態(手動の状態)にしてください。



③ハンドルをしっかり持ち、非常用ブレーキに指を掛けゆっくりと押してください。停止するときは、非常用ブレーキをご使用ください。



④車体から離れる時は、必ずクラッチレバーを電動に切り替えてください。



⚠ 注意

●運転を再開する時は、クラッチレバーが電動になっているかを確認してください。

8. バッテリーの充電

警 告

- 充電中にバッテリーを火気に近付けないでください。引火・爆発する恐れがあります。
- 手や車体が濡れているときには乾くまで触らないでください。感電の恐れがあります。
- 電気の発生を防止するため、清掃するときは水気をよく絞った布で汚れを拭き取ってください。
- 車体カバー（別売）をかけたまま、充電しないでください。
- 直射日光を避け、風通しのよい場所で充電してください。

<充電について>

- ・購入後初めて使用する前に必ず充電してください。
- ・走行中にバッテリーモニターのランプが 1 個以上消えている状態になったら充電してください。
- ・充電は必ず充電完了まで行ってください。充電の中断を繰り返すとバッテリーの劣化が早くなります。
- ・バッテリーは自己放電して電気容量が減っていくので、長時間使用しないときでも 1 ヶ月に 1 度程度充電してください。減りすぎるといくら充電しても元の性能は戻らなくなり、バッテリーが使用不能になってしまいますのでご注意ください。
- ・年に一度はバッテリー交換をしてください。
- ・充電はたこ足配線、長いコードでは行わないでください。

注 意

- 坂道や冬期、使用状況や使用年数により走行時間・距離が短くなります。帰るときのことを考え、余裕を持って走行してください。

＜充電のしかた＞

- ① キーをまわして電源スイッチを切り、キーを抜きます。



- ② 後カバーにある充電コード引出口のふたを開けます。



- ③ 差込プラグを引き出して、家庭用コンセントに差し込んでください。コードに貼ってある黄色テープの目印がコードリールから出たらそれ以上は引き出さないでください。コードリールが断線する恐れがあります。



- ④ 後カバー上面の右側にある充電ランプ確認窓から電源ランプ（赤色）、充電ランプ（橙色）が見えるのを確認してください。充電ランプ（橙色）が（緑色）に変わると充電完了です。

※ バッテリーの残量により、充電にかかる時間は異なりますが、通常4～8時間程度で完了します。また、ご使用量が多いと12～16時間かかることもあります。

⚠ 注意

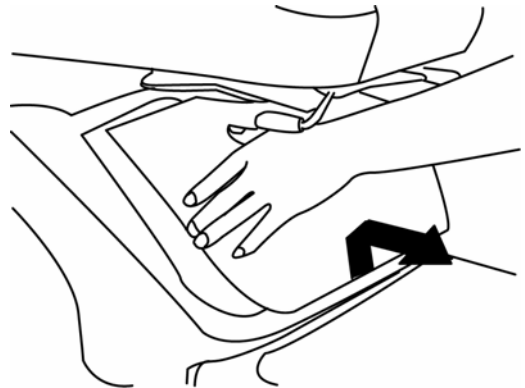
- 専用のバッテリーおよび充電器以外は絶対に使用しないでください。
- 走行時は、充電コードを確実に収納してください。収納せずに走行すると車輪に巻きこむ恐れがあります。
- 充電コードを収納する時は、コードがねじれないよう収納してください。コードリール故障の原因になります。

<バッテリーの交換>

- ①電源スイッチを切り、キーを抜きます。



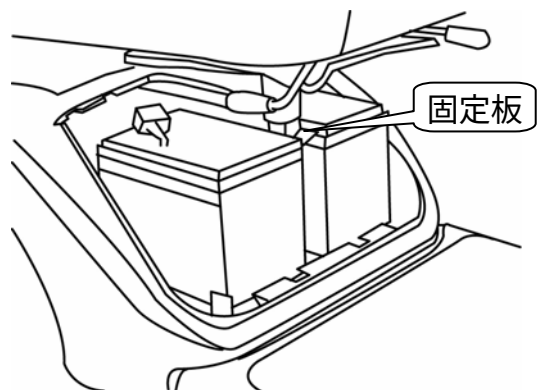
- ②座席下にあるバッテリー交換用カバーの両端にある固定レバーを押さえながらカバーを外します。(下側から外してください。)



- ③バッテリーを押さえている固定板を外します。

- ④バッテリーにつながっている赤と黒の接続コネクタをそれぞれ外します。

※工具等でバッテリーの(+) 赤色端子と(-) 黒色端子を短絡(ショート)させないでください。



- ⑤バッテリーを取り出します。

※バッテリーを交換するときは指をはさまないように注意してください。

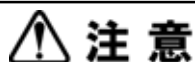
- ⑥新しいバッテリーを用意し、バッテリーコードを付け替えてください。(+(赤色)、-(黒色)にご注意ください。)

⚠ 注意

- バッテリーを交換するときは2個同時に交換してください。
- 使用済みバッテリーはそのまま廃棄せず、販売店に相談してください。

※組み立て時は、逆の手順で行ってください。

<バッテリーに関する注意事項>



注 意

- 発進、停止の繰り返しや上り坂、段差、溝乗り越えなどが多いとバッテリーの消費電力が増えます。また正常な使い方をしていても、充放電を繰り返しているうちに徐々に劣化するため、走行時間・距離が短くなります。
- いつもよりバッテリーモニターのランプの減り具合が早くなったときや、走行できる距離が短くなったときは、バッテリーの交換時期です。早めに専用バッテリーに交換してください。そのまま使われると急激に走行距離が短くなることがあります。
- 冬期は気温の低下(特に 10℃以下の場合)によりバッテリーの働きが弱くなるため、走行できる距離が短くなります。
- 坂道や冬期、使用状況や使用年数により走行時間・距離が短くなります。帰るときのことを考え、余裕を持って走行してください。
- バッテリーは完全密閉型ですので、バッテリー液の補充の必要はありません。
- バッテリーは、充電を繰り返していると本来の性能がでるようになっていきます。そのためバッテリーを新品に交換した直後は交換前より走行距離が短くなる場合があります。
- 充電中、充電器は発熱します。風通しのよい場所で充電してください。
- バッテリーや充電器の分解・改造はしないでください。

9. お手入れと点検

<日頃のお手入れと保管>

- ・ホコリや泥などで汚れた場合はそのまま放っておかず、水気をよく絞ったやわらかい布などで拭き取ってください。汚れがひどいときは中性洗剤を布にしみ込ませて拭き取り、その後、水気をよく絞った柔らかい布で拭き取ってください。

⚠ 注意

- 水などをかけないでください。(水洗いはしないでください。)

電気部品の故障やモーターの回転不良などの原因になる恐れがあります。

- シンナー、ベンジン、ガソリン等で拭かないでください。

変形や損傷などの原因となります。

- から拭きしないでください。



- ・使用しないときは風通しの良い車庫や屋根のあるところに保管してください。直射日光・風雨・湿気の多いところでは保管しないでください。また、クラッチレバーは必ず下に下げた状態(電動の状態)で保管してください。

<日頃の点検>

- ・タイヤはバッテリーと同様、消耗品です。タイヤの溝がなくなってきたら、早めに取り替えてください。

- ・空気入り車輪が装着されている場合、タイヤの空気圧を定期的に点検してください。空気圧が不足している状態で走行するとバースト(破裂)などでタイヤに損傷を与えたり、思わぬ事故につながる恐れがあります。

タイヤの空気圧の目安: 2.2 kg/cm^2
(軟式野球ボール程度の硬さ)

- ・年に一度はバッテリー交換をしてください。使用しなくても、自己放電して電気容量が減っていきます。減りすぎると、いくら充電しても元の性能は戻らなくなり、バッテリーが使用不能になってしまいますので、ご注意ください。

- ・その他、詳しくは20ページの「6.走行前に点検してください」をご参照ください。

⚠ 警告

- 改造は事故・故障の原因となりますので、絶対にしないでください。

10. 運 搬

電動カートを運搬するときは、図のように運搬する車両にスロープを置いて電動カートを車両に積み込んでください。

⚠ 注 意

- クラッチレバーを上にした状態(手動の状態)にしてください。また、積み込み後は、必ずクラッチレバーを下にした状態(電動の状態)にしてください。(詳しくは23ページの「7.運転方法<手で押して移動するとき>」をご参照ください。)
- 積み込みの際には、必ず2人以上で作業してください。
- 積み込んだ後は、ロープなどで確実に固定してください。電動カートを固定していないと、急ブレーキをかけたときなどに電動カートが動き、思わぬ事故の原因となります。
- 電動カートに人を乗せたまま車両に積み込んだり、運搬しないでください。
(車いす送迎車など、専用の装備、改造が施された車両は除きます。)

運搬車両

スロープ

1 1. 故障かなと思ったら・・・

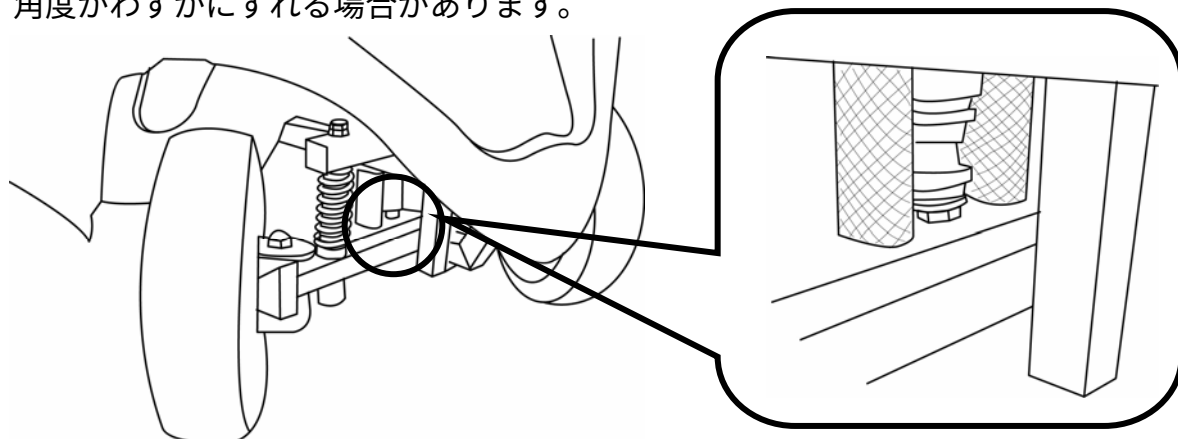
次のような症状がみられたら、次の表に従い点検を行ってください。

それでも異常がみられる場合はただちに使用を中止し、販売店にご連絡ください。

症状	点検方法	対処方法
電源スイッチを「入」にしてもランプが点灯しない	バッテリーの残量がなくなっていないですか？	⇒販売店に相談し点検を受けてください。
	バッテリーのコネクターが外れていませんか？	⇒「カチッ」と音が鳴るまで確実に差し込んでください。
走らない	充電コードプラグをコンセントに差し込んでいませんか？	⇒充電コードプラグを抜いてください。
	電源スイッチは入っていますか？	⇒キーを差し込んで時計回りにまわしてください。
	バッテリーモニターのランプは10個全て点灯していますか？	⇒バッテリーを充電してください。
	クラッチレバーは上がって(手動になって)いませんか？	⇒クラッチレバーを下げて(電動にして)ください。
	操作をしない状態で10分経過していませんか？	⇒電源を入れ直してください。
ハンドルが重いまたは軽い	タイヤの空気圧は正常ですか？ (エアータイヤ装着の場合)	⇒お近くの自転車販売店、オートバイ販売店、ガソリンスタンド等でお確かめください。
走行時間が短くなった	充電が完了するまで充電しましたか？	⇒充電が完了(充電器の緑ランプ点灯)するまで充電してください。
	バッテリーを交換したのは1年以上前ですか？	⇒バッテリーを交換してください。
走行中に停止する	バッテリー残量が不足していませんか？	⇒バッテリーを充電してください。
	タイヤが溝にはまっていたり、乗越えられない段差を走行しようとしていませんか？	⇒一旦アクセルレバーから手を放し、本機が動ける状態にしてから走行してください。
	急な登り坂を走行しようとしていませんか？	⇒ゆるやかな坂道か平坦路に戻ってください。
	長い坂道を連続走行しようとしていませんか？	⇒直ちに安全な場所へ移動し、5分以上休ませてください。
充電できない	電源スイッチが「入」になっていませんか？	⇒電源スイッチを「切」にしてキーを抜いてください。
	電源が入らないほどバッテリー電圧が低下していませんか？	⇒バッテリーを交換してください。
	充電器の電源ランプ(赤色)は点灯していますか？	⇒コンセントの差し込みをお確かめください。
	充電差込プラグはしっかり接続されていますか？	⇒プラグの差し込みを確認してください。

⚠ 注意

- ハンドル角度調整機能が付いている構造上、強い衝撃を与えるとハンドルと車輪の直進角度がわずかにずれる場合があります。



調整方法は、車体底面の前車輪間にある六角ボルト（13 mm）をゆるめて、ハンドルと車輪の角度をあわせ強く締めてください。

※調整が困難な場合は、販売店へご連絡ください。

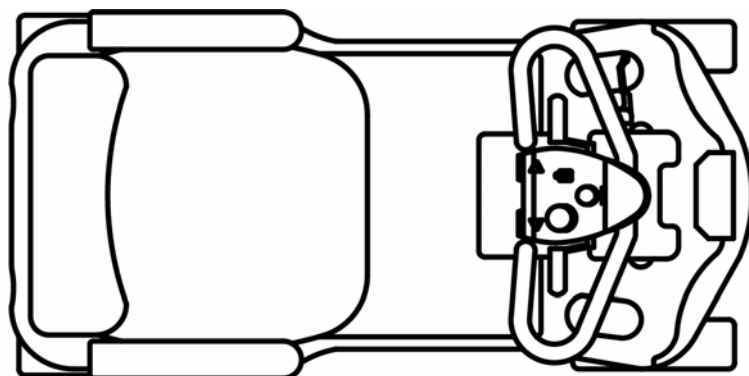
12. 仕様

車種	電動カート KE007 (ロマンス)
制御方法	アクセルレバーによる無段階制御方式
モーター定格出力	24V × 450W × 1個
駆動方法	後二輪直接駆動方式 (デフ付)
制御方法	モーター発電制御及び全自動電磁ブレーキ方式
操舵方法	ハンドルによる前輪操舵方式
バッテリー容量(5時間率)	12V 40Ah × 2個 (完全密閉型)
充電器	自動充電器
前進最高速度	6km/h
後進最高速度	4.2km/h
平地連続走行距離	約21km (但し、バッテリーが初期性能の時)
充電時間	4～16時間
最大登坂角度	10度
最小回転半径	1,590mm
段差乗越え高さ	最大6cm
溝乗越え幅	最大10cm
座幅	50cm (肘当て内幅46cm)
シート構造	回転式 アームレスト付
座角度	約4度
前輪	10インチ (260×85mm)
後輪	10インチ (260×85mm)
重量	101kg (バッテリー含む)
全長×全幅×全高	1,190×590×1,070mm (バックミラー含む)
使用者最大体重	100kg (積載物を含む)

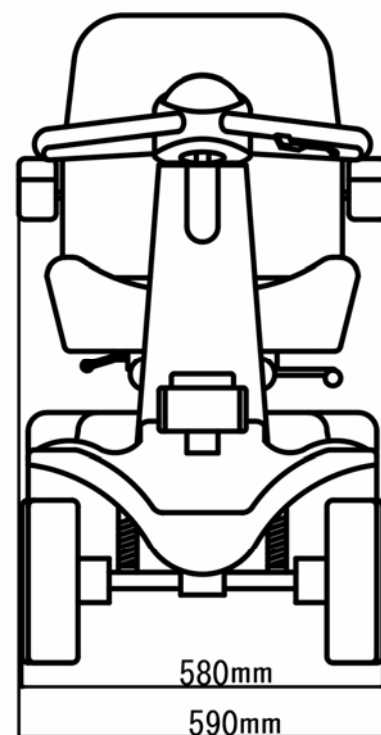
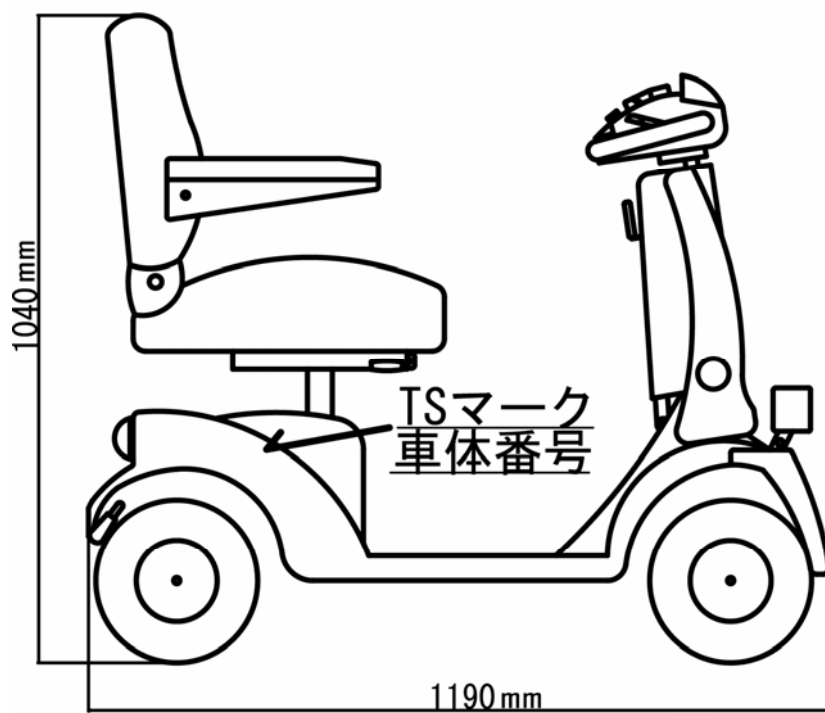
※連続走行距離は、常温 (20℃)、重量 (100kg)、満充電のバッテリーで平坦路を 6km/h で連続走行し、バッテリー放電 70%までの距離を示します。

※上記仕様は改良等により、予告なしに変更する場合があります

※KE007 (ロマンス) の基本性能は JIST9203-1999 の基準に適合しています。



外観図
KE007

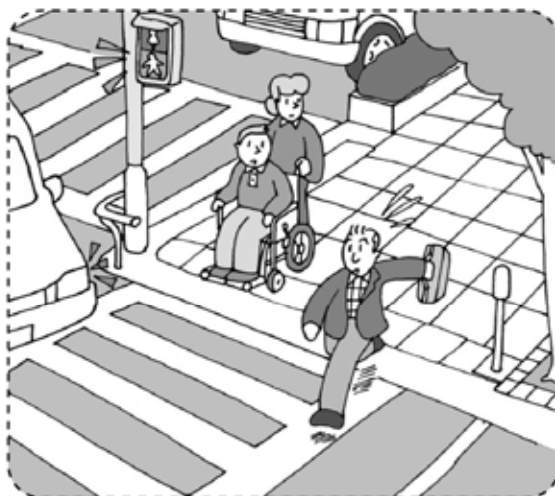


1 3.車いすの主な乗り方<各部の点検・保守方法>

警告

- いきなり公道に出るのは危険です。屋内や庭など安全な場所で練習しましょう。
- 車道はできるだけ通らず、歩道や十分な幅のある路側帯を通りましょう。

車いすは歩行者として取り扱われます。
歩行者としての交通ルールを守りましょう。



- 「自転車及び歩行者専用」、「歩行者専用」のマークのある歩行者専用道路も通ることができます。
- 信号機のある場所では、「青」が点滅中に横断するのは危険です。次の「青」信号を待ちましょう。

★焦らずゆとりを持った横断、
走行を心掛けましょう。

1 4.定期点検と記録

安全に使用していただくために下表にしたがって購入 1 ヶ月後、その後 6 ヶ月毎に点検してください。

<車体まわり>

バックミラー	汚れや損傷はありませんか？
反射板（リフレクター）	破損、ガタはありませんか？
タイヤ	亀裂や損傷はありませんか？ タイヤはすり減っていませんか？ 釘、石、その他の異物が刺さったり、噛みこんだりしていませんか？ 空気は減っていませんか？
タイヤ取付部	ボルトの緩みやガタはありませんか？
バッテリー	接続部の緩みはありませんか？ 外装の変形やひび割れはありませんか？
配線	ケーブルの破損はありませんか？ コネクタの緩み、損傷はありませんか？
クラッチレバー	正常に作動しますか？
シートレバー	正常に作動し、確実に固定されていますか？
ネジ、ノブ類	緩みはありませんか？
非常用ブレーキ	正常に作動しますか？

<座席に座って>

ハンドル	大きなガタつきはないですか？ 左右スムーズに動きますか？
バッテリーモニター	満充電後に残量表示の目盛りがすべて点灯していますか？
ホーン（警笛）	ホーンはなりますか？
方向指示器	左、右それぞれ点滅しますか？
ヘッドライトスイッチ	ライトは点灯しますか？

<走行して>

アクセルレバー	押さえる、放すの操作で走行、停止しますか？
前・後切替スイッチ	前進・後進しますか？後進時、ブザーが鳴りますか？
最高速度設定ダイヤル	速度変化しますか？
モーター	異常音はないですか？ 電磁ブレーキは平坦路では 1m以内で止まりますか？ 下り坂（10 度以下の坂）では 1.5m以内で止まりますか？

<定期点検記録簿>

(販売店の方へ)

定期点検記録を下表にご記入ください。

点検項目	購入 1 ヶ月後	6 ヶ月後	1 年後	1 年半後	2 年後
バックミラー					
反射板（リフレクター）					
タイヤ					
タイヤ取付部					
バッテリー					
配線					
クラッチレバー					
シフトレバー					
ネジ、ノブ類					
非常用ブレーキ					
ハンドル					
バッテリーモニター					
ホーン（警笛）					
方向指示器					
ヘッドライトスイッチ					
アクセルレバー					
前・後進切替スイッチ					
最高速度設定ダイヤル					
モーター					
点検実施店名					
点検実施日					

<部品交換の記録>

1 5.車体番号

アフターサービスなどを的確に受けるため、車体番号を記録しておいてください。
車体番号は車体後方の車体カバーに貼り付けられています。

車 種	KE007 ロマンズ
車 体 番 号	

<車体番号貼付位置>



1 6.保証とアフターサービス

★保証書

この商品には保証書を別途添付しております。保証書（返送用登録はがき）に所定の事項を記入のうえ、商品購入後 1 ヶ月以内に弊社へご返送ください。

保証期間はご購入日より 1 年間です。

★補修用性能部品の最低保有期間

弊社はこの商品の補修用性能部品の製造打ち切り後、5 年保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

★修理のご依頼

異常がある場合は、ご使用を中止しお買い上げの販売店にご依頼ください。

★保証期間後

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

★保証の適用除外となる場合

- (a) ご使用による消耗品および取扱不注意による破損
例) タイヤの磨耗およびバッテリー、パンク、シートの破損等
- (b) 地震、台風、水害などの天災および事故、火災による焼失・破損
- (c) お取扱の不注意、操作未熟ならびに故意または過失など誤って使用されたことによる破損
- (d) 保全上の不備および弊社の特約販売店以外で行った修理や改造等による破損
- (e) 弊社が指定する純正部品以外のパーツ等の使用により発生した破損
- (f) 一般に電動車いすが走行しない場所、または特殊な状態での使用による破損

★取扱説明書について

- ・運転するときは、必ず携帯してください。
- ・この商品を貸したり、ゆずられる場合は取扱説明書も一緒に渡してください。
- ・なくしたり、汚れて読めなくなったときは、お買い上げいただいた販売店にご注文ください。

地球の環境保護のため、
廃棄するときはそのまま放置しないで
各自治体の取り決めにしたがってください。

メ モ

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines.

地球の環境保護のため、廃棄するときにはそのまま放置しないで
各自治体の取り決めにしたがってください。



株式会社 **カワムラサイクル**



■本社	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地 3-9-1	TEL078-969-2800
■仙台サービスセンター	〒982-0023	宮城県仙台市太白区鹿野 3-1-1	TEL022-746-9540
■東京サービスセンター	〒110-0013	東京都台東区入谷 1-8-3	TEL03-3874-3511
■横浜サービスセンター	〒220-0073	横浜市西区岡野 2-12-9	TEL045-290-9585
■名古屋サービスセンター	〒487-0027	愛知県春日井市松本町 1-3-11	TEL0568-52-4800
■大阪サービスセンター	〒553-0004	大阪市福島区玉川 1-3-18 マックスビル 5 階	TEL06-6479-2055
■本店サービスセンター	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地 3-9-1	TEL078-969-2820
■福岡サービスセンター	〒819-0055	福岡市西区生の松原 1-18-3	TEL092-882-4722
■神戸工場 ■神戸第二工場 ■いなみの工場			

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上の為に、一部予告なく変更することがあります。

修理・お手入れ・お取扱いなどのご相談は、まずお買い求めの販売店へお申し付けください。

・転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、上記へ。